

愛宕山古墳(水戸市)

ここが愛宕神社で背後の愛宕山古墳後円部墳頂に社殿が鎮座する



正面が愛宕山古墳後円部/右手に前方部がある



前方の階段を登って行くと後円部墳頂に鎮座する愛宕神社社殿がある/階段登り口右手に説明板がある



茨城県最大の前方後円墳/6世紀初頭の築造

国指定文化財
National Cultural Property

史跡 愛宕山古墳

昭和9年5月1日 指定

この古墳は全長136.5メートル（前方部幅75メートル、高さ9メートル、後円部径78メートル、高さ10メートル）の規模を誇り県内最大級の前方後円墳である。また有段の墳丘と、みごとに長く伸びる前方部、東方、北西の一部に堀を残すなど、その古式形態を保ち築造当時の面影を現代に伝えている。古墳の造営年代は、その墳形や後円部墳頂及び裾部において発見された大型の円筒埴輪はにわなどから6世紀初頭であると推定される。当時那珂川なかのくわ両岸におかれた仲国の支配者として君臨した首長の墓であることが考えられ、考古学及び古代史研究の上重要な意義をもつ古墳である。

Historic Site

Atagoyama Kofun

designated May 1.1934

This Kofun (ancient tomb) is one of the largest in Ibaraki with a square style in the front and circular back. It is 136.5m in length, 75m in width and 9m in height in the front, 78m in diameter and 10m in height in the back. This Kofun is one of the few examples of this style, which is fully intact, including steps to the top and the moats around it. This Kofun seems to have been built at the beginning of the 6th century according to its style and clay figures (Haniwa) found at the back. It seems to be the tomb of the governor who ruled Nakanokuni, an area on both sides of the Naka River at that time. It is a very important tomb in respect to Japanese archeology and ancient history.



愛宕山古墳実測図

水戸市教育委員会

説明板越しに後円部裾から前方部方向を見たところ



その先はこんな感じ/途中くびれ部から前方部墳丘裾が右手に張り出しているのが見てとれる



これがそのくびれ部から前方部墳丘裾が右手に張り出している様子



そして正面が前方部墳丘



さて、先程の階段を登ろう



途中、踊り場になっている



この踊り場の段が築成の平坦面(テラス)になっている/右手の前方部方向を見たところ



さて、これが墳頂に鎮座する愛宕神社社殿/右手が拝殿、左手は本殿



拝殿





拝殿右手を見たところ/幾つもの境内社がある



これは三島神社





本殿



愛宕山古墳の後円部墳頂に堂々と建てられている



社殿の裏手を見たところ



そこから墳丘背後(北西方向)を見下ろしたところ



さて、これは拝殿から前方部方向(南東方向)を見たところ



これは後円部墳頂を下りて、くびれ部辺りから前方部方向を見たところ



そこから振り返って後円部を見たところ



さて、これは前方部を北西側から南東方向へ見たところで、左手の少し高い位置に天満宮の覆屋が見える



これは天満宮の辺りから振り返って後円部方向を見たところ



これは天満宮の覆屋



中に天満宮が鎮座する



これは天満宮のある前方部墳頂から南東方向を見下ろしたところ/この階段が本来の参道のような



参道の階段下から前方部墳頂を見上げたところ



右手に立つ「茨城百景」と記された石碑

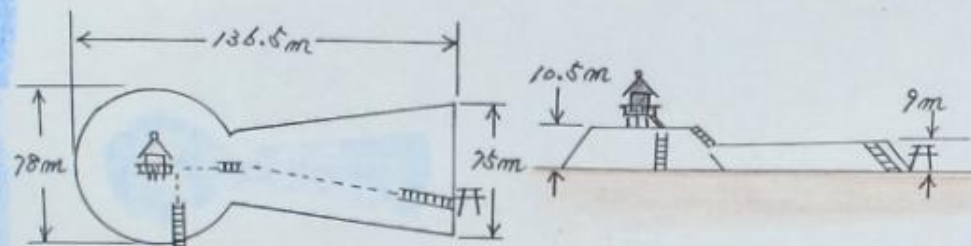


参道の入口には鳥居が立つ/正面に説明板も立つ/右手は墳丘に沿って周っている道路



愛宕山古墳

この古墳は、県内で三番目に大きい前方後円墳で600年初頭(約1400年前)に作られ、那珂川流域一帯を支配した大首長の墓と言われております。



愛宕神社

古墳の頂上部に建つ神社で、火除けの神様「火之迦具土神」を祭っております。

1580年に建立されました。

昔は火事が多かったことから、火をつかさどる火防の神として厚く信仰されました。

右手の道路を進んでみる/左手は前方部の墳丘裾



墳丘のくびれ部に沿って道路もカーブしている/左手が前方部で前方が後円部



正面は前方部/右手が後円部方向



前方部墳丘を見上げると天満宮の覆屋が見える



これは前方部の墳丘の裾からくびれ部、後円部方向を見たところ



これはくびれ部を見たところ



これは後円部を見たところ



これは振り返って後円部裾から前方部方向を見たところ



後円部を見上げると愛宕神社社殿が見える



これは後円部の墳丘の裾からくびれ部、前方部方向を見たところ



これは後円部墳丘の北西側の回り込みを見たところ



参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/mito_atagoya/

http://www.mizunotec.co.jp/zyousou/atagoyama_kofun/mito_atagoyama.html

<http://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/bunkazai/kuni/shiseki/12-7/12-7.html>

http://2nd.geocities.jp/txinui/kantou_kofun4b.htm

http://inoues.net/club2/atagoyama_kohun.html

<http://massneko.hatenablog.com/entry/2015/12/08/183000>

<http://www.asahi-net.or.jp/~ZT8M-TKHS/atagoyamakofun.html>

